



平成30年6月15日
第810号

一般財団法人日本遺族会
〒100-0001 東京都千代田区
九段南一丁目六番一七号
千代田会館三階
電話 03-3261-5521
振替 00160-6-25389
編集発行人 畔上和男
毎月1回15日発行
定価 1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

理事会 29年度決算を承認 女性部会則の改正 青年部規約の制定 についても審議

日本遺族会は五月二十五日、第十五回理事会を東京千代田区千代田会館で開催した。平成二十九年度事業報告及び計算書、公益目的支出計画実施報告書の承認、さらには、英霊顕彰運動及び処遇改善運動の経過並びに今後の運動方法が承認された。また、平成三十一年度政府予算に対する本部・支部の要望事項等が審議された。

会議は午後一時三十分、畔上和男専務理事の進行で開会、靖国神社に眠る英霊に感謝の黙禱を捧げた後、水落敏栄本会会長(参議院議員)は、「本会には靖国神社問題、戦没者の遺骨収集事業の促進、戦没者遺児の慰霊友好親善事業、戦没者の遺留品返還事業など課題が山積している。こうした課題解決のために承認を得た特別委員会を設置

して検討を重ね、解決して参りたい」と挨拶した。次いで、理事の過半数の出席により会議の成立が確認され、議長に市來健之助副会長が選出された。議事に入る前に古賀誠名誉顧問、森田次夫顧問から挨拶があった。議事に移り、最初に平成二十九年度事業報告及び決算等が説明された後、監事を代表して久谷清邦氏が監査報告を述べ、審議を経て承認された。次に平成二十九年度公益目的支出計画実施報告書、平成三十一年度本部諸会計予算の第一次補正、英霊顕彰及び処遇改善運動が承認された。その後、平成三十一年度政府予算に対する本部・支部からの要望事項が審議され、六月十二日開催の評議員会を経て取りまとめることが承認された。



第15回理事会で挨拶に立つ水落敏栄本会会長=5月25日、千代田会館で

事務局長幹事会、女性部長会、青年部長会
日本遺族会では、事務局長幹事会を五月十五日、女性部長会、青年部長会を五月十六日に相次いで開催した。



女性部長会で挨拶する三浦妙子部長(青森県)=5月16日、千代田会館で



青年部長会で挨拶する辻正人部長(滋賀県)=5月16日、千代田会館で

各部からの要望事項が審議された。六月十二日開催の評議員会を経て取りまとめることが承認された。さらには、本会女性部会則の一部改正案が諮られ、現行本会女性部組織については、「・・・戦没者の妻と女性の遺児を

部から寄せられた要望と、本会事務局が示した案について意見が聴取された。なお、女性部長会では会則の一部改正や研修会の開催について、青年部長会では、規約及び本部各支部青年部の具体的な活動について、それぞれ審議された。

昭和館の昨年度の入場者数は46万人を超え、小中学生からシニアまで幅広く、多くの人達でにぎわった。過日初夏を思わせる陽ざしの中、特別企画展が開催され、ある記事に紹介された笑顔を少年達がジブを追いかけている。戦争直後には各地で見られた光景だろうが、何と鮮烈な印象が残ったのはそれがカラー写真だったからに違いない。GHQの仕事で来日した米国人学者が旅先等で人々の暮らしを撮影した。当時は白黒が主流だったが、より生き生きと描写されていたという。まるで遠い別の国の人達のようにと、昭和館には今後もインパクトの強い企画展を望む所である。そんな中、フリーピン政府との遺骨収集に係る覚書が交わされた。平成22年10月、某NPO法人の情報に基づき収集した遺骨に、地元墓などから盗まれたフリーピン人のものが含まれているのではないかと指摘を受け事業が中断していた。それから8年ぶりの再開となる。今後は比国国立博物館の立会いの下でのみ実施し、厚労省と比国政府が協議のうえ共に決定し、かつ適切な移動許可が取得されている場合に限り帰還できることとなる。昨年安倍総理がドゥテルテ大統領と会談した際、直接要請したとも聞いた。まさにトップ会談の威力に、インパクトは強いと実感した所である。(A)

日本遺族通信 年間定期購読のお知らせ

毎月、お手元までお届けする年間定期購読です。戦没者の英霊顕彰(遺骨収集、慰霊友好、慰霊巡拝)、遺族の処遇改善等々の遺族関係の情報を掲載しておりますので、是非、この機会にお申し込みください。次世代を担う青年部(孫・ひ孫)の皆様も是非お申し込みを。

年間購読料/1,560円
(1年間12回 税金・送料込)

お申込み
日本遺族会事務局 ☎03-3261-5521

昭和館の昨年度の入場者数は46万人を超え、小中学生からシニアまで幅広く、多くの人達でにぎわった。過日初夏を思わせる陽ざしの中、特別企画展が開催され、ある記事に紹介された笑顔を少年達がジブを追いかけている。戦争直後には各地で見られた光景だろうが、何と鮮烈な印象が残ったのはそれがカラー写真だったからに違いない。GHQの仕事で来日した米国人学者が旅先等で人々の暮らしを撮影した。当時は白黒が主流だったが、より生き生きと描写されていたという。まるで遠い別の国の人達のようにと、昭和館には今後もインパクトの強い企画展を望む所である。そんな中、フリーピン政府との遺骨収集に係る覚書が交わされた。平成22年10月、某NPO法人の情報に基づき収集した遺骨に、地元墓などから盗まれたフリーピン人のものが含まれているのではないかと指摘を受け事業が中断していた。それから8年ぶりの再開となる。今後は比国国立博物館の立会いの下でのみ実施し、厚労省と比国政府が協議のうえ共に決定し、かつ適切な移動許可が取得されている場合に限り帰還できることとなる。昨年安倍総理がドゥテルテ大統領と会談した際、直接要請したとも聞いた。まさにトップ会談の威力に、インパクトは強いと実感した所である。(A)

靖国神社

みたままつり 献灯のご案内

靖国神社みたままつりが、七月十三日から十六日まで、四日間賑々しく執り行われます。

ご遺族・戦友会崇敬者の方々など、多くの皆様の献灯をお願いいたします。

献灯初穂料

小型献灯 一灯につき 三千元
大型献灯 一灯につき 一万二千元

お申し込みは、左記の靖国神社事務所献灯係までお問い合わせください。

申込要領等をお送りいたします。

小型献灯
大型献灯

お問い合わせ
靖国神社社務所 献灯係
〒102-8246 東京都千代田区九段北三-1-1
電話 03(3261)8326(代)

新たに1852柱を納骨

常陸宮殿下がご臨席

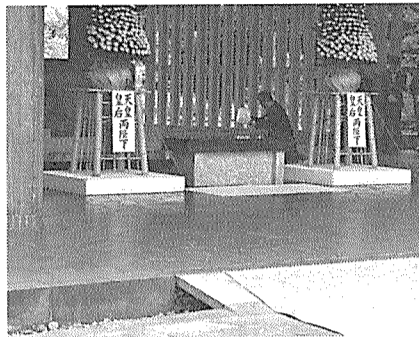
戦没者墓苑式 拝礼

厚生労働省主催の千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式が五月二十八日、常陸宮殿下の御臨席のもと挙行された。式典では政府派遣の戦没者遺骨収集集団等が旧戦域で収容した戦没者の遺骨のうち、遺族に引き渡すことができない1852柱が同墓苑に納骨された。約600人の参加者が戦没者に対し哀悼の誠を捧げた。

式典は、午後零時二十分、常陸宮殿下が御臨場なされ開式された。参加者一同が国歌を斉唱した後、加藤勝信厚生労働大臣が「今日のわが国の平和と繁栄の礎となられた戦没者の方々に深く思いを致し、謹んで哀悼の意を捧げます。いまだ多くの戦没者が故郷に帰らぬことな各地に眠っておられ、ご遺骨の帰還に全力を尽くしてまいります」と式辞を述べると



ご拝礼される常陸宮殿下=5月28日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で



加藤勝信厚生労働大臣の手により遺骨が納められた=5月28日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で

ともに、日本人以外の骨がまじっていた可能性があると見られていた。平成二十二年から中断しているフィリピンでの遺骨収集事業に

触れ「今月、同国政府と覚書を署名した。ご遺骨を一日も早く祖国にお迎えできるように取り組んでいきたい」と述べ、同大臣の手により遺骨が納められた。

樺太・硫黄島・南方地域で

遺骨収集参加者募集

日本遺族会では、平成三十年度戦没者遺骨収集事業への参加希望者の事前登録を行っている。戦没者の遺骨をはじめ、孫曾孫、甥、姪等の青年部

も広く登録願いたい。申込登録要項は次のとおり。

- ▼派遣実施予定地域及び期間 30年度遺骨収集実施予定表参照。
- ▼参加資格 ①原則年齢制限はなく、身体健康

※相手国行政機関等との調整、現地の治安状況等の理由により事業が変更中止となる場合がある。

※派遣者は健康診断書並びに宣誓書の提出が義務付けられており、参加の有無については、遺骨収集事業を主催する日本戦没者遺骨収集推進協会の判断に従う。

▼参加登録方法 在住する各都道府県遺族会事務局へ。

参加登録にあたり申込用紙を取り寄せ、全ての項目に記入したうえで、提出願いたい。

時局に思う

日本遺族会会長
参議院議員

水落敏栄



フィリピンでの遺骨収集再開が見通しがつきました。

去る五月八日、厚生労働省は、平成二十二年から中断していた戦没者の

遺骨収集について、フィリピン政府と協力して事業を再開する覚書を交わしたと発表しました。

厚生労働省はじめ、外務省の粘り強い交渉により敬意を表したいと思

います。この背景には、安倍総理が、APECでフィリピンを訪れた際、ドゥテルテ大統領に直談判されたことが大きいと思

っています。そしてドゥテルテ大統領が行動を起されたのは、安倍総理と築いてこられた友好関係が非常に大きく、現在大変に友好関係にあ

る日比の情勢が後押ししたかと思われ、安倍総理はじめ、日本政府に衷心より感謝を申し上げます。

加えて、平成二十八年に議員立法で成立、施行された戦没者の遺骨収集を推進する法律において、外務省に協力義務を課したことも、今回の交渉において大いに役立ちました。

厚労省は、年内には遺骨収集を再開したい考えです。先の大戦において、海外での戦没者数が一番多いフィリピンでの遺骨

収集再開は、私たち戦没者遺族にとって大きな喜びであります。

そもそもフィリピンでの遺骨収集が中断されたのは、日本のNPO法人が収集した遺骨の一部にフィリピン人とみられる骨が交ざっていたことが原因でした。一柱でも多く祖国にお連れしたい気持ちばかりありますが、戦後七十年余りが経過し、地形も変化し、さまざま

な状況ではあります。何よりご遺骨の収集は、現地の方々の協力な

しには成り立ちません。私たち遺族はもとより、遺骨収集に関心を寄せてくださっている皆様は、英霊に思いを馳せるあまり、大きな進展を期待しがちですが、こうした事業が繰り返されないと、現地の方々と友好関係を大切にしながら一歩ずつ、慎重に進めることが大切であり、温かく見守っていただければと思います。

私はこれからも日本遺族会会長として、ご遺骨の収集のために、あらゆる協力を惜しまない所存



昭和53年タイでの遺骨収集作業に従事

No.	地域名	派遣期間
1	トラック諸島	10月14日(日)~10月25日(木)
2	ビスマーク・ソロモン諸島(第1次)	10月24日(水)~11月8日(木)
3	マリアナ諸島	11月6日(火)~11月16日(金)
4	樺太・占守島	11月13日(火)~11月21日(水)
5	パラオ諸島	12月1日(土)~12月13日(木)
6	ギルバート諸島	1月15日(火)~1月30日(水)
7	インド	1月25日(金)~2月8日(金)
8	硫黄島(第4回)	1月29日(火)~2月14日(木)
9	東部ニューギニア	2月13日(水)~2月28日(木)
10	マーシャル諸島	2月24日(日)~3月7日(木)
11	ミャンマー	2月26日(火)~3月14日(木)
12	ビスマーク・ソロモン諸島(第2次)	2月27日(水)~3月14日(木)

30年度 遺骨収集実施予定表

報告及び計算書類等・公益目的支出計画実施報告書②平成30年度本会諸会評議員会に付議する事項計予算の第一次補正③英霊顕彰・処遇改善運動の経過並びに今後の運動方針④平成31年度政府予算に対する本会の要望事項⑤女性部会則の一部改正⑥青年部規約の制定⑦評議員会の招集⑧青年部役員等の任命⑨今後の遺族会を考る特別委員会⑩平成30年春の生者者叙勲及び褒章の受章者⑪本会役員等の逝去について。

本会の要請事項

▼女性部長会議 5月16日 ①英霊顕彰・処遇改善運動の経過ならびに今後の運動方針②平成30年度本会要請事項(平成31年度政府予算に要望すべき事項)の取りまとめ

▼青年部長会議 5月16日 ①英霊顕彰・処遇改善運動の経過ならびに今後の運動方針②平成30年度本会要請事項(平成31年度政府予算に要望すべき事項)の取りまとめ

▼監事会 5月18日 ①平成29年度本会決算書の監査②平成29年度共済会決算書の監査について。

▼常務理事会 5月17日 ①支部寄付金の未収計塔②移設に伴う案内表示板の修繕等③平成30年度「女性部研修会」の開催等について。

一般財団法人 日本遺族会への賛助金のお願い

日本遺族会では、英霊顕彰や遺族援護など様々な活動のために賛助金を募っております。本会は、これまで英霊の顕彰並びに戦没者遺族の福祉増進をはかるため、日々活動を行ってきたところでございますが、東日本大震災により収益部門であった九段会館が閉館したことに伴い、現在、慰霊友好親善事業をはじめ遺骨収集帰還等各種事業の継続が大変厳しい状況にあります。

本会といたしましては、各種事業を行うにあたり、今後とも努力していくことは勿論のことですが、戦没者ご遺族並びに本紙ご購読者、本会の諸事業にご賛同される皆様方より一層のご支援・ご協力を仰がなければなりません。

本会の活動の趣旨にご理解を賜り、何卒ご賛同いただきますようお願い申し上げます。大変恐縮ですが、ご賛同いただいた方の氏名を本紙に掲載し、お礼に代えさせていただきます。

賛助金のお振込みは

- 郵便振替 00130-2-694929
 - みずほ銀行 九段支店 普通預金 0980930
- 口座名は「一般財団法人日本遺族会：ザイ」ニホンイソクカイ

※賛助金につきましては、誠に勝手ではございますが、お一人様1万円程度からお願いしております。

※ご不明な点は本会事務局(電話03-3261-5521)までお問い合わせ願います

平成30年度・戦没者遺児による慰霊友好親善事業・実施計画概要

実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
1 旧ソ連	平成30年8月20日(月)～8月28日(火) 8泊9日	40人	平成30年6月20日
2 ビスマルク諸島	平成30年9月5日(水)～9月12日(水) 7泊8日	40人	平成30年7月5日
3 東部ニューギニア	平成30年9月5日(水)～9月12日(水) 7泊8日	42人	平成30年7月5日
4 西部ニューギニア	平成30年9月14日(金)～9月23日(日) 9泊10日	40人	平成30年7月13日
5 北ボルネオ・マレー半島	平成30年9月26日(水)～10月5日(金) 9泊10日	20人	平成30年7月26日
6 マリアナ諸島	平成30年10月10日(水)～10月16日(火) 6泊7日	40人	平成30年8月10日
7 トラック・パラオ諸島	平成30年10月20日(土)～10月27日(土) 7泊8日	40人	平成30年8月20日
8 フィリピン(1次)	平成30年11月2日(金)～11月9日(金) 7泊8日	120人	平成30年9月3日
9 ソロモン諸島	平成30年11月21日(水)～11月28日(水) 7泊8日	20人	平成30年9月21日
10 ミャンマー・タイ(1次)	平成30年11月27日(火)～12月6日(木) 9泊10日	80人	平成30年9月27日
11 台湾・パシフィック	平成31年1月18日(金)～1月24日(木) 6泊7日	30人	平成30年11月16日
12 マーシャル・ギルバート諸島	平成31年3月9日(土)～3月17日(日) 8泊9日	40人	平成30年11月9日
13 フィリピン(2次)	平成31年3月13日(水)～3月20日(水) 7泊8日	120人	平成31年1月11日
14 中国	平成31年3月22日(金)～3月30日(土) 8泊9日	80人	平成31年1月22日

上記14地域の他に特定地域として下記3地域を行う予定です。

1 西部ニューギニア	平成31年2月4日(月)～2月13日(水) 9泊10日	36人	平成30年12月4日
2 東部ニューギニア	平成31年2月13日(水)～2月20日(水) 7泊8日	36人	平成30年12月13日
3 ミャンマー	平成31年2月26日(火)～3月6日(水) 8泊9日	36人	平成30年12月21日

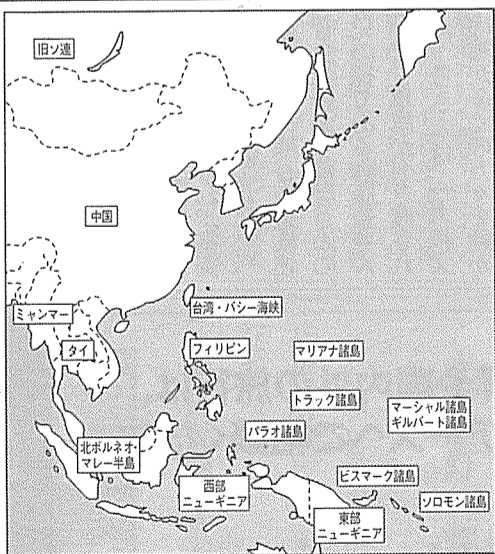
下記地域については、応募状況によって機上選考等を実施する場合があります。

①西部ニューギニア(ワケダ島、ダンケン、トル川、サルミ、ムミ、スンホル島)
 ②東部ニューギニア(ソナム、マルジツ、坂東川、アイタバ、山南方面)
 ③ビスマルク諸島(タロキナ、ブイン、ムグアイ)
 ④マーシャル・ギルバート諸島(ルオット、ウオッゼ、マロエラップ、ミレ、ヤルト)

本会への賛助金のお礼

本紙(同面)でもお願いしている本会への賛助金につきましては、ご賛同いただきました左記の方々に対し、お礼申し上げます。

なお、大変恐縮ではございますが都道府県名に



ついては、送金方法により居住地域が特定できない場合がありますので、省略させていただきます。

賛助者名(敬称略・カタカナ名は銀行振込、漢字名は現金書留等)

檀山喜美子、村澤禮子、

金子春佳(以上、五月一日から五月末日まで)

皆様からいただきました賛助金は、本会が実施する各種慰霊事業などの活動費用に利用させていただきます。

誠にありがとうございます。

好問 友訪 慰親 霊善

遺児の参加者募集

亡き父等の縁の地を巡る

日本遺族会では、厚生労働省から補助を受けて実施している「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」の参加者を募集している。この事業は、戦没者の遺児を対象とした事業で、亡き父等の縁の地を巡り慰霊追悼を行うとともに、小学校や病院等を訪問して友好親善をはかることを目的としている。参加費は十万円である。

募集要項については次のとおり。

- ▼参加資格 戦没者の遺児。平成二十九年年度参加者を除き、複数回の応募が出来る。
- ▼その他 集合場所

は、東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明会を行う。なお、集合場所まで及び解散場所からの交通機関はご自身の手配となる。

また、移動に係る国内交通費及び帰国時の宿泊代、渡航手続手数料等は個人負担となる。

▼申込方法 在住する各都道府県遺族会事務局へ。

やっど、ここに出来ること、出来ませんでした。ここに出来た事で長年心の奥の方に有ったタラカン島、いち度は来てお父さんの最後の場所を見たかった。今日、これが叶えてこんなに嬉しいことはない。

成田を出て四日目でタラカン島に着きました。お父さんは、門司を出てマニラに寄り、このタラカン島までだけ掛かったのでしょうか。輸送船の上で何を考えていたのか、きつと結婚し、高博と陵一を授かりました。不安と恐怖であったと思います。

戦争に出征するときは、まだ三歳の僕と弟をばい抱いてくれたのでしょ。僕には、その記憶がありません。母から聞いたお父さんしかいせん。でも、いつかは帰ってくる子供心に何時も思っていました。父親の居ない家族の大変さ、世の中のこと、でも負けずに一生懸命に生きてきました。

平成十六年に母と弟が他界しました。もう身寄りはいません。妻の和江と結婚し、高博と陵一を授かりました。が、父親としてどう子供と接するか初

めは迷いました。私たち夫婦は思いっきり子供を可愛がり望みを叶えてやりました。今では二人の子供は所帯を持ちました。今では二人の子供は所帯を持ちました。今では二人の子供は所帯を持ちました。今では二人の子供は所帯を持ちました。

きつと、お父さんは天国から母と弟と一緒に見ていると思います。僕は、まだまだ子供や孫達のため、そして地域のために頑張っていきたいと思っています。

どうか、天国から僕を見ていてください。

十月二十五日 タラカン島にて平成



タラカン島 旧日本人墓地で=25年10月

二十五年度ボルネオ・マレー半島参加者、東京都根津幸男氏追悼文より抜粋

本会事業参加者の皆様へ

本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報「個人情報保護法」の定めにより、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。

沖縄戦跡慰霊巡拝

関係遺族の参加者募集

日本遺族会は、本会主催の沖縄戦跡慰霊巡拝の実施を予定している。この戦跡慰霊巡拝は、太平洋戦争末期、住民を巻き込んだ激しい地上戦となり、多くの尊い命が失われた沖縄の地を巡り、各地で亡き肉親の慰霊祭を執り行い、戦没者の冥福と恒久平和を祈念することを目的に参加者を募集している。

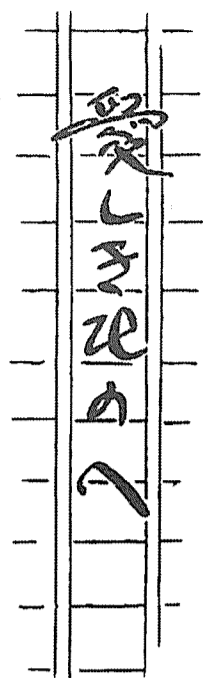
募集要項については次定している。
※参加者は、本会が指(予定)
※募集人員を上回った場合は選考となる。
※参加資格 沖縄及び周辺海域で肉親を亡くされた戦没者の遺族(妻、遺児、孫、兄弟・姉妹、甥・姪等)

実施時期 十月二十三日(火)〜十月二十七日(土)の四泊五日を予定している。
募集人員 四十人
実施時期 十月二十三日(火)〜十月二十七日(土)の四泊五日を予定している。
※参加者は、本会が指(予定)
※募集人員を上回った場合は選考となる。
※参加資格 沖縄及び周辺海域で肉親を亡くされた戦没者の遺族(妻、遺児、孫、兄弟・姉妹、甥・姪等)

遺書

陸軍兵長 庄子 勇

昭和十九年十二月二十三日
ファイリピンにて戦死
宮城県仙台市荒町出身 二十二歳



この世に生を受けて二十有二年、何つ孝行もせず散つて行く勇をどうぞお許しください。
今更何も想ひ残すこともありません。
温かい膝下に育つた自分は幸福者でした。
ばた〜と軍装を整へる間は、何か実習にでも行くやうな気持ちでしたが、さて遺書なんて改まると一瞬悲壮な感じが致します。
皆様のご健康をお祈り致します。

敬白
勇 拝

【平成三十年六月靖国神社頭掲示】
愛しきものへ

※原則として、長途の移動及び気候・風土の異なる地での旅行に耐えられる健康状態が良好な方に限るので、心配な方は申込みの際に事前に申告願いたい。
参加費用 7万円(8万円程度)
※参加人数により費用は異なる。また、集合場所の沖縄までの往復交通費等は別途個人負担となる。
申込締切 八月三十一日(金)

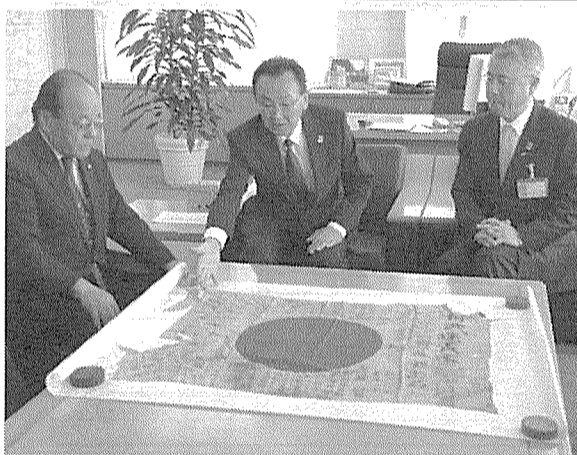
沖縄慰霊巡拝実施地図



埼玉県で日章旗返還

OBONソサエティ

戦没者の遺品の返還運動を推進しているOBONソサエティから本会に照会があった、ファイリピンで戦死した齊藤重忠さんの日章旗を受け取った齊藤豊さん(中央) = 5月3日、熊谷市役所で(写真提供:埼玉新聞社)



日章旗を受け取った齊藤豊さん(中央) = 5月3日、熊谷市役所で(写真提供:埼玉新聞社)

※参加人数が募集人数を大幅に下回った場合は、中止となるので、予めご了承願いたい。

九段短歌

作品を
お寄せ
ください。

選者 安元 百合子 石橋 嘉子
千葉市 浜松市 江間 得二
忠魂碑遺児らの探す父の名は声すら知らず遺影想ひて
あまたなる無名戦士を眠らせて千鳥が淵に秋の風たつ
戦死せし叔父の手紙の茶に褪せて確かな文字に水欲し
とあり
血の涙必みたる父の島踏めば青々と鎮もりてをり
日盛りの校庭にかたまり玉音に鳴咽せしともがら共に
老いたり

慰霊終る深夜の機にまどろめばバアの戦跡浮びて
悲し
「海ゆかば」一人が歌へば皆続く戦中派われらの青春の
歌
子の咳は大丈夫かと問ふ父の軍事郵便使いた宝に
激戦に還らぬ兄の戒名を毎朝拝み遺影に語る
今号より九段短歌を担当させていただきます。安元でございます。
寄せられた多くの短歌を拝読し、亡き方への熱い思いに感動いたしました。同じ世代を生きた私にとって胸に迫るものがございます。
二つなき命捧げし英霊に肅く心にみ歌えらばむ
命もて皇御国を守りたる功忘れしよろづ世までも

地方だより

各都道府県遺族会で、実施された大会、研修会等は次のとおり。
徳島県 5月12日
第44回語り部事業(60人)
新潟県 5月24日
25日 市町村地区遺族会
長会議(58人)
和歌山県 5月27日
28日 平成30年度和歌山県遺族連合会研修会(180人)
長野県 5月30日
平成30年度長野県遺族会役員研修会(64人)

戦跡慰霊巡拝や国内外の旅行は、東武トップツアーズへご相談ください。



東京法人東事業部 第4営業部
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-10-5 住友生命茅場町ビル2階
TEL:03-6667-0534 FAX:03-6667-0564 担当:櫻井・高橋
営業時間:平日 09:00~18:00 (土日祝休業)
http://www.tobutoptours.co.jp/

東武トップツアーズは、東京2020オリンピック・パラリンピックを応援しています。

